

平成27年度政策経営基本方針の概要

26.10.14 栃木県

1 県政を取り巻く現状と課題

- (1) 我が国を取り巻く現状と課題
- (2) 人口減少問題への危機感

2 平成27年度における政策経営の基本的考え方

- (1) 指定廃棄物の処理等の東日本大震災に係る残された課題の解決に全力で取り組むとともに、復興から成長への確かな歩みを広く行き渡らせ、すべての県民が成長の成果を実感できるよう取り組むことが重要
- (2) 急激な人口減少は重要な課題であり、特に、若者の都市部への流出に歯止めをかけるためには、子育て環境の充実に加え、産業の振興等による県内への定住を促す雇用の創出が鍵
- (3) 東京オリンピック・パラリンピックは、本県の経済成長と地域活性化、ブランド力向上などのチャンスであり、国体等も視野に入れ、オール栃木体制での戦略性のある施策展開が必要
- (4) 平成27年度は、「新とちぎ元気プラン」の総仕上げの年として、本県の将来像の実現に向けて全力で取り組むとともに、様々な課題を的確にとらえながら、次期プランの策定を推進
- (5) 今後のとちぎづくりを描く重要な年であり、職員一人ひとりが、何事にも果敢に挑戦する気概を持つとともに、常に柔軟でスピード感ある対応力を持った組織運営を推進

3 平成27年度政策経営実施方針

(1) 栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の総仕上げと次期プランの策定

計画期間の最終年度を迎える「新とちぎ元気プラン」について、総仕上げの年として、プロジェクトの推進を図り、本県の将来像の実現に向けて全力で取り組む。

また、次期プランにおいて、人口減少問題を始めとする諸課題への対応方針を示していく。

(2) 平成27年度に取り組む重点事項

ア 成長への確かな歩みと県民がその成果を実感できる取組

- ・新たな成長産業創出・育成、農林業を成長産業へと発展させる取組、中小企業等の経営力向上・海外展開支援、女性の活躍推進

イ 人口減少問題への対応

- ・国への積極的な働きかけ、市町との連携、少子化対策、ふるさとへの愛着心の高揚、雇用の確保

ウ 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた戦略的な取組

- ・キャンプ地誘致、観光誘客に向けた環境整備、“とちぎ力”の発信の強化

(3) 予算編成の考え方

「財政健全化取組方針」の目標である収支均衡予算の継続に向け、選択と集中の考え方に基づき、歳入歳出全般にわたり徹底した見直しを行った上で必要な財源を確保し、「新とちぎ元気プラン」の総仕上げのほか新たな行政課題等への的確な対応を図る。

(4) 組織運営の考え方

平成27年度は、人口減少など新たな課題に真正面から向き合い、今後のとちぎづくりを描く重要な年であり、職員一人ひとりが何事にも果敢に挑戦する気概を持つとともに、常に柔軟でスピード感ある対応力を持った組織運営に努める。

また、行政改革の推進とともに、地方分権型社会の実現に向け、積極的に取り組む。